

「いつか きっと」。ささやかだけど
希望に満ちた、このことばを詞に



「いつかきっと」ということばが好きなんです。小さいけれども希望を表すことばで、未来に対する期待感もあり、星に願いをこめる七夕にぴったりだと思いました。この言葉を思いついてからは、すらすらと書くことができました。普段から詩を書くのは好きだったんですけど、歌の詞は難しかったですね。そ

あなたの願いが叶うように
あなたの夢がひろくように
みんなに小さくても 遠くても
想いを込めて



● 木村れいみさん（宇頭茶屋町）

自身が作词した「満天の星～いつか きっと～」が「みんなでつくる七夕のうた」に。安城市出身のviviさんがボーカルをつとめるiyiyimにより完成した曲が、七夕まつりで披露されました。

れに、曲を作ってくださいるiyiyimのお二人のイメージに合うかも心配でした。でも、今回、わたしの詞が採用され、完成した曲を聴いてみたら、とても素敵な曲になっていてとてもうれしかったです。

いつかきっと 願いが叶う
いつかきっと 夢はひろく
歌おう 祈ろう
満天の星空の下
あなたとふたいで
いつまでもあつと

（歌詞は一部抜粋です）

iyiyimのお二人にもお話を伺いました。

■ 木村さんの詞を読んだ感想は？

viviさん—人の暖かさを感じました。同じことばの繰り返しの中で、いつのまにか自分のものになっていくように、とても素直な心で読めました。わたしが書く詞のイメージにも近く、iyiyimにもぴったりでした。

■ 曲作りは難しかったですか？

kousukeさん—詞が先にある曲作りは初めてだったので、戸惑いました。七夕のことも意識しましたし。また、制作期間が短かったのも、録音の時は、真夜中にミュージシャン仲間を無理やり呼び出して演奏してもらいました。（笑）星空をイメージする音をちりばめているので、ぜひ聞いてみてください。



■ 今後については？

viviさん—今回のこの曲が皆さんに親しまれて、安城七夕まつりの歌として、そして、iyiyimの歌として、育っていくように願っています。